

北海道開発局事業審議委員会（令和4年度第4回） 審議案件一覧【再評価】《道路事業》

	事業名	再評価理由	上段：前回評価	事業の概要	事業期間		全体事業費(億円)	進捗率※1	事業の効果等	費用便益比全体B/C	総費用	総便益	地方公共団体等の意見	対応方針(案)	対応方針(案)決定の理由	備考
			下段：今回再評価		事業化年度	完了予定年度										
再～1	北海道横断自動車道根室線本別～釧路	社会経済情勢等の変化	前回(R2)	本別～釧路は、高速ネットワークの拡充による釧路圏と道央・十勝圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化、物流効率化等の支援を目的とした事業。	H15	R6	2,392	87%	災害時の輸送ルート強化 重要港湾釧路港の流通利便性向上 主要な観光地への利便性向上 水産品の流通利便性向上 救急搬送の安定性向上	1.1 (0.8) ※2	3,939	4,348	「北海道横断自動車道根室線 本別～釧路」事業を「継続」とした「対応方針(原案)」案について、異議はありません。 当該事業は、道央・十勝・釧路圏の連絡機能の強化による地域間交流の拡大や、物流の効率化、道路交通の安全性の向上が図られ、経済・社会活動の活性化や道民の安全・安心な暮らしの確保に寄与することから、早期供用をお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、平成2年12月3日付け道路第1322号「北海道横断自動車道小樽釧路線(阿寒町～釧路市間)に係る環境影響評価準備書に関する意見について」の知事意見を遵守するとともに、より一層、徹底したコスト縮減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業継続	事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。	
			今回(R4)	同上	H15	R6	2,472	91%	同上	1.3 (0.9) ※2	6,383	8,124				
再～2	一般国道44号尾幌系魚沢道路	道路事業における一体評価を実施するため、再評価時期を前倒しする事業	前回(R2)	尾幌系魚沢道路は、津波浸水被害などの災害時の救急活動等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築、物流効率化や観光周遊性の向上等の支援を目的とした事業。	R1	R14	650	1%	災害時の輸送ルート強化 重要港湾釧路港の流通利便性向上 主要な観光地への利便性向上 水産品の流通利便性向上 救急搬送の安定性向上	1.1 (1.1) ※2	3,939	4,348	「一般国道44号 尾幌系魚沢道路」事業を「継続」とした「対応方針(原案)」案について、異議はありません。 当該事業は、道央・十勝・釧路・根室圏の連絡機能の強化による地域間交流の拡大や、物流の効率化、道路交通の安全性の向上が図られ、経済・社会活動の活性化や道民の安全・安心な暮らしの確保に寄与することから、早期供用をお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、徹底したコスト縮減を図り、引き続き、効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業継続	事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。	
			今回(R4)	同上	R1	R14	650	4%	同上	1.3 (1.3) ※2	6,383	8,124				
再～3	日高自動車道厚賀静内道路	社会経済情勢等の変化	前回(R3)	厚賀静内道路は、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び国際拠点港湾苫小牧港、拠点空港新千歳空港等への物流効率化等の支援を目的とした事業。	H7	R8	678	44%	畜産品の流通利便性向上 農産品の流通利便性向上 水産品の流通利便性向上 災害時の緊急輸送ルートの強化 救急搬送の安定性向上 観光地への移動利便性向上 移住・交流人口の拡大による地方創生	1.3 (1.3) ※2	4,083	5,299	「日高自動車道(一般国道235号)厚賀静内道路」事業を「継続」とした「対応方針(原案)」案について、異議はありません。 当該事業は、近隣都市間の連絡機能の強化による地域間交流の拡大や、国際拠点港湾苫小牧港、拠点空港新千歳空港等へのアクセス強化による物流の効率化、道路交通の安全性の向上が図られ、経済・社会活動の活性化や道民の安全・安心な暮らしの確保に寄与することから、早期供用をお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、より一層、徹底したコスト縮減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業継続	事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。	重点審議 (c) 推定事業費が顕著に増加する事業
			今回(R4)	同上	H7	R11	873	57%	同上	1.2 (1.1) ※2	4,410	5,365				
再～4	日高自動車道静内三石道路(静内～東静内)	道路事業における一体評価を実施するため、再評価時期を前倒しする事業	前回(R3)	静内三石道路(静内～東静内)は、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び国際拠点港湾苫小牧港、拠点空港新千歳空港等への物流効率化等の支援を目的とした事業。	R4	R14	520	0%	大規模災害発生時の道路機能、代替の確保 安全性・安定性の高い物流ルート確保による地域産業の活性化支援 高次医療施設への迅速性向上	1.3 (1.01) ※2	4,083	5,299	「日高自動車道(一般国道235号)静内三石道路(静内～東静内)」事業を「継続」とした「対応方針(原案)」案について、異議はありません。 当該事業は、近隣都市間の連絡機能の強化による地域間交流の拡大や、国際拠点港湾苫小牧港、拠点空港新千歳空港等へのアクセス強化による物流の効率化、道路交通の安全性の向上が図られ、経済・社会活動の活性化や道民の安全・安心な暮らしの確保に寄与することから、早期供用をお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、より一層、徹底したコスト縮減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業継続	事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。	
			今回(R4)	同上	R4	R14	520	0%	畜産品の流通利便性向上 農産品の流通利便性向上 水産品の流通利便性向上 災害時の緊急輸送ルートの強化 救急搬送の安定性向上 観光地への移動利便性向上 移住・交流人口の拡大による地方創生	1.2 (0.97) ※2	4,410	5,365				

再評価理由	事業名	再評価理由	上段：前回評価 下段：今回再評価	事業の概要	事業期間		全体 事業費 (億円)	進捗率 ※1	事業の効果等	費用便益比 全体 B/C	総費用	総便益	地方公共団体等の意見	対応方針(案)	対応方針(案)決定の理由	備考
					事業化 年度	完了予定 年度										
再～5	一般国道5号 倶知安余市道路 (倶知安～共和)	道路事業・街路事業における一体評価を実施するため、再評価時期を前倒しする事業	前回 (H30)	倶知安余市道路は新千歳空港から主要観光地であるニセコエリアへの速達性の向上、大規模災害時の代替ルートの確保、高次医療施設への搬送時間の短縮、国際コンテナ通行支障区間の解消による物流の効率化等を目的とした事業。	H28	R6	420	1%	畜産品の流通利便性向上 農産品の流通利便性向上 水産品の流通利便性向上 災害時の緊急輸送ルートの強化 救急搬送の安定性向上 観光地への移動利便性向上 移住・交流人口の拡大による地方創生	1.2 (1.2) ※2	1,423	1,711	「一般国道5号 倶知安余市道路(倶知安～共和)」事業を「継続」とした「対応方針(原案)」案について、異議はありません。 当該事業は、新千歳空港から主要観光地であるニセコエリアへの速達性の向上、大規模災害時の代替ルートの確保、高次医療施設への搬送時間の短縮、国際コンテナ通行支障区間の解消による物流の効率化等が図られ、道民生活の向上や経済・社会活動の活性化に寄与することから、早期供用をお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、徹底したコスト縮減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業継続	事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。	
			今回 (R4)	同上	H28	R11	420	13%	地域振興による地域活性化支援 救急搬送の速達性向上 災害時の代替路の強化 道路交通の安全性向上 農産品等の輸送安定性向上 地域産業の活性化	1.3 (2.0) ※2	1,628	2,193				
再～6	一般国道5号 倶知安余市道路 (共和～余市)	社会経済情勢等の変化	前回 (H30)	倶知安余市道路は新千歳空港から主要観光地であるニセコエリアへの速達性の向上、大規模災害時の代替ルートの確保、高次医療施設への搬送時間の短縮、国際コンテナ通行支障区間の解消による物流の効率化等を目的とした事業。	H26	R6	1,090	8%	畜産品の流通利便性向上 農産品の流通利便性向上 水産品の流通利便性向上 災害時の緊急輸送ルートの強化 救急搬送の安定性向上 観光地への移動利便性向上 移住・交流人口の拡大による地方創生	1.2 (1.5) ※2	1,423	1,711	「一般国道5号 倶知安余市道路(共和～余市)」事業を「継続」とした「対応方針(原案)」案について、異議はありません。 当該事業は、新千歳空港から主要観光地であるニセコエリアへの速達性の向上、大規模災害時の代替ルートの確保、高次医療施設への搬送時間の短縮、国際コンテナ通行支障区間の解消による物流の効率化等が図られ、道民生活の向上や経済・社会活動の活性化に寄与することから、早期供用をお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、徹底したコスト縮減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業継続	事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。	重点審議 (c) 推定事業費が顕著に増加する事業
			今回 (R4)	同上	H26	R11	1,280	38%	地域振興による地域活性化支援 救急搬送の速達性向上 災害時の代替路の強化 道路交通の安全性向上 農産品等の輸送安定性向上 地域産業の活性化	1.3 (1.4) ※2	1,628	2,193				
再～7	北海道縦貫自動車道 七飯～大沼	再評価後5年	前回 (H29)	七飯～大沼間は、高速ネットワークの拡充による道央圏と道南圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化、物流効率化等の支援を目的とした事業。	H17	R5	914	11%	主要都市間の利便性向上 交通混雑の緩和及び道路交通の安全性向上 物流の利便性向上 救急搬送の安定性向上	1.2	702	843	「北海道縦貫自動車道 七飯～大沼」事業を「継続」とした「対応方針(原案)」案について、異議はありません。 当該事業は、高速ネットワークの拡充による道央圏と道南圏の連絡強化により、地域間交流の活性化や物流の効率化が図られるほか、新函館北斗駅へのアクセスが強化されるなど、道民生活の向上や経済・社会活動の活性化に寄与することから、早期供用をお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、徹底したコスト縮減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業継続	事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。	重点審議 (d) 事業の進捗予定が顕著に遅れている事業
			今回 (R4)	同上	H17	R10	1,004	27%	交通混雑の緩和及び道路交通の安全性向上 物流の利便性向上 広域周遊観光の利便性向上 救急搬送の速達性・安定性向上 災害時の緊急輸送ルートの強化	1.3	939	1,250				

※1 進捗率は、それぞれの全体事業費に対する進捗率を示す

※2 ()内の数値は参考として算出した単体評価結果

：重点審議案件

- ◆重点審議案件の選定要件
- (a) 事業計画が顕著に変更された事業
 - (b) 推定便益が顕著に減少する事業
 - (c) 推定事業費が顕著に増加する事業
 - (d) 事業の進捗予定が顕著に遅れている事業
 - (e) その他の要因